

令和7年度 長期滞在客等受入促進事業伴走支援プロジェクト

伴走支援プロジェクトの重要性と課題

- 長期滞在型観光の普及や観光消費額単価の向上のため、県内旅行の長期滞在化につながるコンテンツの創出や、新たな旅行スタイルに係る需要を喚起するコンテンツの創出が必要である
- 群馬県観光振興計画（令和6年3月）において、心と身体を癒やす長期滞在型観光の一大拠点「リトリートの聖地」実現を目指し、3つの柱（基本戦略）の1つに「国内外から選ばれるコンテンツの創出」を掲げる

地域支援
の実施

財政支援

地域の関係者が一体となって行う「国内外から選ばれるコンテンツの創出」に係る取組への支援を行う「長期滞在客等受入促進事業補助金」を新設

伴走支援

「長期滞在客等受入促進事業補助金」活用中又は活用予定の事業主体に対し専門的な知見を有するアドバイザー(※)を派遣し、より効果的な事業実施を後押しする

■ 伴走支援プロジェクト概要

※アドバイザー・・・応募書類を基に、県が指定する者

応募主体	採択予定	主な支援内容	派遣に係る経費
市町村、登録DMO、観光協会、商工会議所、商工会、共同事業体（協議会、実行委員会、コンソーシアム等）など	6団体程度 ※採択数が上限に達し次第、募集を終了する。 ※応募主体が異なる同地域・同内容と見なされる応募は、1団体を採択候補とする。 ※R6伴走支援実施済み計画及び、同様と見なされる計画への伴走支援は、原則対象外とする。	①有識者の派遣（※） ②有識者によるアドバイス ③有識者への相談 ※1団体に対し4回程度を想定（オンライン1回、対面3回） ※派遣回数は個別状況に応じて変更の可能性がある（要相談）	県負担 (1 / 1) ※応募主体による負担なし

■ 伴走支援実施スケジュール

